

「アポロ13号無事に地球に帰還できるか」

J-EAS、ファミリーセミナーを開催

工業会 日本万引防止シ
システム協会(J-EAS)、稲
に高千穂交易(東京都新宿



第4回ファミリーセミナーの様子

区)のセミナールームで、第4回ファミリーセミナー2026「アポロ13号あなたは(計算尺を使って)無事に地球に帰還できるか」を開催した。佐藤正行・元芝浦工業大学システム理工学部教授、元芝浦工業学柏中等学校校長を講師に招いた。総勢23名が参加した。

この企画は総会員数60社達成を記念して行われた2024年の第1回ファミリーセミナー「電波つてすごい ゲルマニウムラジオ手作りセミナー」から続く企画で、「子供達に数学や科学技術の言い知れぬ感動を伝える」を合言葉に開催された。

今回のセミナーでは親子

が3チームに分かれ、様々なミッションをクリアして無事に「地球に帰還」した。特に計算尺が使えたときは、「すごい!すごい!」と親子で歓声が上がった。

総会員数70社達成とJ-EAS創立25周年にあわしい楽しい学びの場となった。ミッションの概要は次の通り。

▽発射前―本日のプログラム配布、スライドショーを見る。

①宇宙への挑戦「人類はどうして宇宙へ行こうとするのか」

【ミッション1】アルテミス計画から考える。宇宙船の模型をよく観察し、情報カードを参考に、宇宙船の仕組みを考えてみよう。

②最初の決断「進むのか、戻るのか」

【ミッション2】何が起きたのか。問題は何か。進むか戻るのかを判断する。

③「軌道修正は成功するか」

【ミッション3】円形計算尺の使い方。軌道修正の計算を行う。

④最後の危機「どう乗り切るか」

【ミッション4】船内の二酸化炭素濃度をどのように下げるか。管制センターが作成した装置を実際に手に取り、分解しながら、その仕組みを考える。

⑤リーダーシップ

【ミッション5】アポロ13号の映画のセリフを3人で読み上げ、感じたことを共有する。

⑥地球への帰還

【ミッション6】ワークシヨップで印象に残ったことをチームで話し合い、船長が発表する。

⑦ミッション終了後の交流タイム

おみやげは計算尺、アポロ13号ペーパークラフト、ジュニアサイエンスバッチ等。